



ピース!

2021（令和3）年10月15日

福山市立日吉台小学校

2年 学年通信

No.12

今回紹介する日記では、「」の使い方に気を付けて書くことを目標に書きました。

テーマ①「ぼくの・わたしのねがい」

ぼくのねがい

岩本 琉玖

今日、まほうつかいのおじさんからまほうのつえをもらいました。つえをふってねがいを言うと、一日だけねがいがかなくなりました。

「空をとびたい。」

とやってつえをふってまばたきをするとき、青色の空に白くもがりました。たたくさんのとりもとんでいます。うしろを見ると、何もありませんが、足もとに羽のついたくつがありました。

ずっとジャンプしていることをわすれるほどきれいな空です。だんだん時がながれていき、夕やけの空になっても時がながれ、とうとう夜になってしまいました。

「月がいつもよりきれいに見えて大きなな。」

そしてとうとう朝がきてしまいました。まばたきをするときねがいを言ったところにもどってきていました。足もとを見ると羽はなくなりましたがくつはまだありました。それとともにとんでいたときのくつのミニチュアがありました。

自由

豊田 輝

今日、まほうつかいのおじさんからまほうのつえをもらいました。

つえをふるとねがいがかなくなると言われました。ぼくは、

「自由」

と伝えました。すると、自由になりました。

ぼくはまず朝ごはんを食べました。つぎはバスケットをしました。風になったのでステークを食べました。3時になったので、アイスを食べました。バスケットをしました。夜になつたので寝てしまいました。

つぎの日には、つえはなくなっていました。



まほうが使えたらと考えると、想像が広がりますね。

テーマ②「空から〇〇がふってきた」

空からわたあめがふってきた

中藤 桜

雨がふってきたので、あわててかさをさしました。すると、なんと雨がわたあめにかわってふってきたのです。びっくりしてかさをたたきました。

ふってくるわたあめをさわってみました。すると、あまいにおいがありました。一口食べてみるとすごくあまかったです。

空からいろいろなわたあめのあじがしました。食べてみると、ついつい

「おいしー。」
と言いました。

どんどんわたあめの雨がつよくなってきました。わたしは、わたあめをかきあつめました。すると、わたあめが一つのくもになりました。わたしはぴよんぴよんはねました。きょうにドーンとおちました。おちたと思ったらベッドの上でした。

空からおかしの家がふってきた

渡邊 新

雨がふってきたので、あわててかさをさしました。すると、なんと雨がおかしの家にかわって空からふってきたのです。

「ゆめかな。」

と思いました。けど、目をとじてあげると、目の前におかしの家がありました。うれしかったです。友だちをよびました。友だちもびっくりしていました。

友だちとおかしの家でお話したり、おかしを食べたりしました。いつものまにかわたしはねむってしまいました。目をさますと、友だちはいなくなっていました。

あわてて外へとびだし、おうちに帰ろうとしました。帰っているときおかしの家が気になってうしろをふりむくと、おかしの家なくなっていました。雨もやんでいました。

また、雨がふるとおかしの家が空からふってくるのかな。ふってきてほしいです。

書く書く月間が始まって2週間がたちます。最初は字の間違いや主述のねじれになかなか気付くことができずにいましたが、自分の書いた文章を読み直したり、友だちの作文を読んだりする中で、自分で間違いに気づいて、正しい文に直すことができるようになってきた子もいます。書く書く月間では以下のような力をつけられるよう指導をしていきますので、ご家庭でも声掛けをよろしくお願いいたします。

- ①原稿用紙のマスに字を入れて丁寧に書くこと。
- ②「いつ、どこで、だれが、何を、どうした」といった文の簡単な構造を理解し、文を書くこと。
- ③自分の思いを表す言葉を調べたり、探したりして文を書くこと。
- ④学習した平仮名・片仮名・漢字を使うこと。
- ⑤経験したこと、想像したことなどをもとに、文章を書く楽しさを味わうこと。
- ⑥文章を読み返して直すこと。

などの力をつけることを目的とし、「書く」活動をしていきたいと思います。

